

## エイダ&デビン&クリスデールの鬼の里Diary

### Devin's Story 「Why did I come to Japan article」

子どもの頃、私はさまざまなアニメを見て育ちました。「日本語を学びたい」と思ったきっかけも、日本のアニメでした。私の祖父母は英語に加え、スペイン語を話すことができたので、私にスペイン語を習ってほしかったみたいですが、私はどうしても日本語の勉強がしたくてたまりませんでした。

アメリカの大学では英語、写真、そして日本の文化や言語について学びました。在学中、私はいつか日本に行ってみたくずっと思っていました。その夢は2016年にやっと実現！京都府にある立命館大学への留学が決まったのです。立命館大学では、5週間という短い期間ではありましたが、本場日本で日本について学ぶことができて、とても楽しかったです。たくさんの友人もできて、

さまざまな観光地に連れて行ってもらいました。夢のようなあつという間の5週間でした。忘れられない思い出です。それ以来、私は「また日本に行きたい」と思うようになりました。

卒業後、私は英語の先生になりたいという夢があったので、今回鬼北町でALTとして働けることが本当に嬉しいです。今回、日本の子どもたちに英語を教える機会と、私に日本語を学ぶ機会を与えてくださり、心から感謝しています。私はまだまだ日本語を上手に話すことができませんが、自分の努力次第で今より上手く話せるようになると思います。せっかく日本に来たので、一生懸命勉強し、早く鬼北町の皆さんと日本語で話せるように頑張りたいです。温かく見守ってください。



**鬼北町外国語指導助手  
通称：デビン**

アメリカ合衆国ニューメキシコ州出身  
※毎週水曜日、エイダ、クリスデールとともに英会話教室を開講しています。

## 地域おこし協力隊のゆうゆう自適日記

皆さん、こんにちは！  
日増しに涼しくなり、過ごしやすくなってきました。  
大好きな夏がもう恋しいです。



地域おこし協力隊2年目  
はやかわ ゆうこ  
**早川 優子**

8月18日、東京有楽町交通会館グリーンルームにて、愛媛県単独イベント「愛あるえひめ暮らしフェア」に鬼北町担当として参加してきました。

全体でなんと！78組107人の皆さんにご来場いただきました。愛媛県に興味を持ち移住を考えている方々が増えているとは聞いてはいましたが、鬼北町ブースでも過去最高の方々とお話できました。

また、私が移住してから撮り続けている鬼北町の素敵な景色の写真を見て、「行ってみたい」と足を止めてくださったお客さまがいました。まずは、大好きな鬼北町をもっと知ってもらい、「鬼北ファン」を増やしたいです。



▲「愛あるえひめ暮らしフェア」の各ブースの様子